0204870HK9503

MITSUBISHI

三菱 店舗用 ロスナイ
パワー排気カセット形ロスナイ
形名

LTH-25PC・LTH-35PC
LTH-50PC・LTH-65PC

取付工事説明書

販売店・工事店さま用

取付工事を始める前に必ずこの取付工事説明書をお読みになり、正しく安全に取付けてください。
取付工事は販売店・工事店さまが実施してください。

別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡しください。

安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

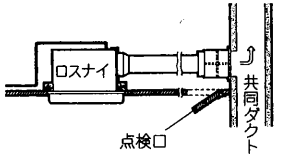
分解禁止	**改造や必要以上の分解をしない** 火災・感電・けがの原因になります
浴室取付禁止	**浴室など湿気の多い場所には、本体・コントロールスイッチとも取付けない** 感電および故障の原因になります
指示に従い必ず行う	**定格電圧、制御容量範囲内で使用する** 間違った電圧で使用すると、火災・感電の原因になります
指示に従い必ず行う	**外気の取り入れは、燃焼ガス等の排気を吸い込まない、積雪で埋もれたりしない位置を選ぶ** 新鮮な空気が取り入れられず、室内が酸欠状態になる恐れがあります
指示に従い必ず行う	**本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う** 落下によりけがをすることがあります
指示に従い必ず行う	**端子台接続部は、指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する** 接続に不備があると火災の恐れがあります
指示に従い必ず行う	**配線工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う** 接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります
指示に従い必ず行う	**金属製ダクトがメタルラス・ワイヤラス・ステンレス板などの金属と、接触しないように取付ける〔電気設備の技術基準 解釈 第167条3項〕** 接触して取付けると、漏電した場合火災の原因になります

⚠注意 誤った取扱いをしたときに傷害または建物・機械などの損害に結びつくもの

禁止	**高温（40℃以上）や直接炎があたったり、油煙の多い場所には取付けない** 火災の恐れがあります
禁止	**機械および化学工場など酸・アルカリ・有機溶剤・塗料など有害ガス・腐食性成分を含んだガスが発生する場所には取付けない** 故障の原因になります
指示に従い必ず行う	**本体より室外側のダクトは室外に向かって下りこう配（1/30以上）になるように取付け、断熱処理を確実に行う** 雨水の浸入による漏電・火災や家財の損傷の恐れがあります
指示に従い必ず行う	**コントロールボックスカバーは施工後、必ず閉める** ほこり・湿気などにより漏電・火災の原因になります
指示に従い必ず行う	**取付け後長期間ご使用にならない場合は、必ず分電盤のブレーカーを切る** 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります
指示に従い必ず行う	**吊りボルト・ナット・ワッシャーは必ず指定のものを使用する** 指定以外のものを使用すると、落下の原因になります
指示に従い必ず行う	**取付けの際は手袋を着用する** 着用しないとけがの原因になります

規　制

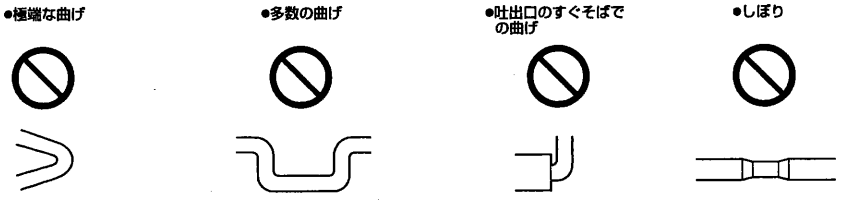
●共同ダクトへ排気する場合は、建築基準法施行令により、2mの鋼板立上がりダクトを取付けるか、システム部材（別売）の煙逆流防止ダンパーおよびその点検口を必ず設けてください。



●ジャバラの使用については、地区によって異なった規制を受ける場合がありますのであらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。

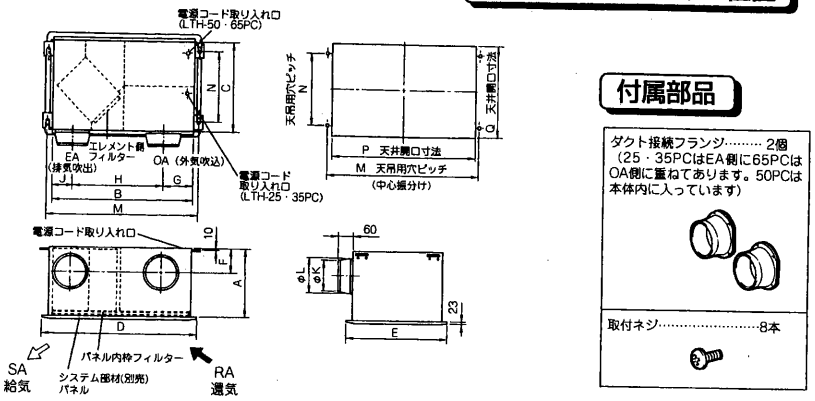
お　願　い

●天井材は共鳴しにくい材質をご使用ください。
●寒冷地あるいは風の強い地域では、運転停止時に外風が侵入することがありますので、給・排気ダクトの途中に電動シャッターを設けることをおすすめします。
●給排気ダクトの先端には、雨水などの浸入を防ぐためのフード（システム部材：別売）などを取付けることをおすすめします。
●給気・排気が混ざらない配管工事を行ってください。
●次のようなダクト工事はしないでください。
（風量低下や異常音発生の原因になります）



外形寸法図

天井開口寸法・天吊り位置



付属部品

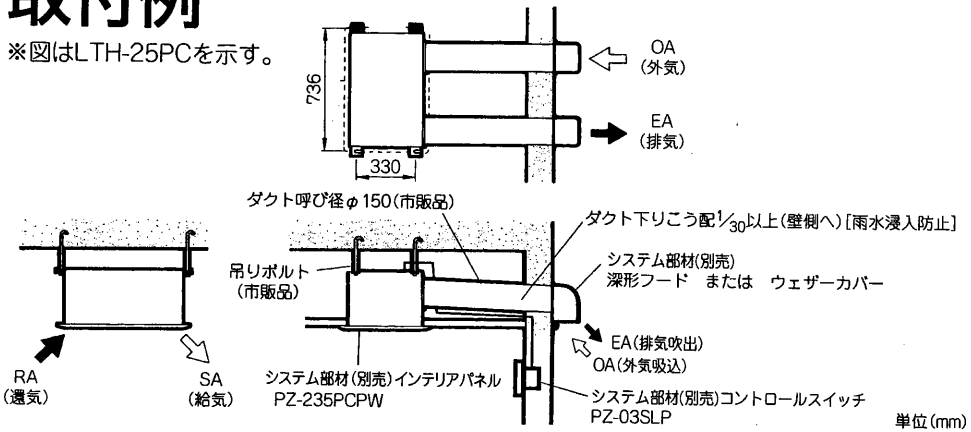
変化寸法表

単位(mm)

形　名	製品外形			パネル外形		パイプガイド						天吊金具		天井開口		ダクト径 (φ)	質量 (kg)
	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N	P	Q		
LTH-25PC	318	690	430	763	506	115	137	465	88	142	160	736	330	720	460	150	13(本体のみ)
LTH-35PC	350	690	430	763	506	115	137	465	88	142	160	736	330	720	460	150	14(本体のみ)
LTH-50PC	390	880	520	955	596	144	157	577	146	192	208	926	420	910	550	200	22(本体のみ)
LTH-65PC	390	880	520	955	596	144	157	577	146	192	208	926	420	910	550	200	23(本体のみ)

取付例

※図はLTH-25PCを示す。



単位(mm)

取付方法

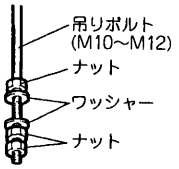
※図はLTH-25PCを示す。

取付手順〔例〕

取付け前の準備 ⇒ 本体の取付け ⇒ ダクト接続 ⇒ 電気工事

取付け前の準備

1



ダブルナットの取付け

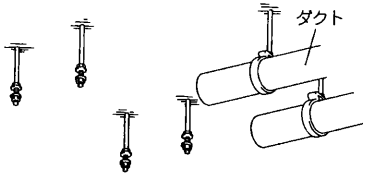
- あらかじめ埋込んである市販の吊りボルト(M10～M12)に左図のように市販のワッシャー(外径M10で21mm以上、M12で24mm以上)・ナットを取付ける。

⚠注意

- **吊りボルト・ナット・ワッシャーは必ず指定のものを使用する**

落下の原因になります

2



ダクト配管

- 壁の給・排気穴から本体までダクト配管する。
- ダクトは本体に力が加わらないよう天井から吊す。

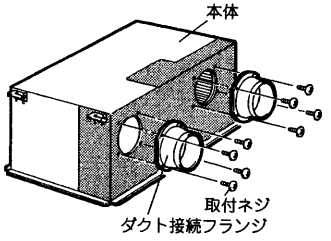
⚠注意

- **ダクト配管は屋外に向って1/30以上の下りこう配になるように取付け、断熱処理を確実に行う**

雨水の浸入による感電・火災や家財の破損の恐れがあります

本体の取付け

1



ダクト接続フランジの取付け

- ダクト接続フランジを付属の取付ネジで本体に取付ける。

〈LTH-50PCの場合〉

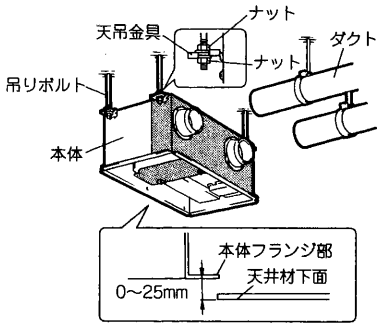
本体内にネジ固定されているダクト接続フランジを取出し後、固定していたネジを同じところに取付けてください。

お願い

- ダクト接続フランジを取付ける前に本体内に異物(紙・ビニールなど)が入っていないことを確認してください。

取付方法 つづき

2



本体の取付け

1.ダクト接続フランジをダクト配管側にして、天吊金具を吊りボルトに引掛ける。

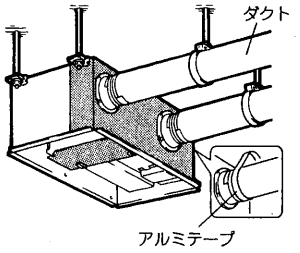
2.本体が水平になるよう調節してゆるみ防止のためダブルナット（市販M8ナット2個）にて確実に締め付ける。

お願い

- パネル外枠(システム部材：別売)が上下に可動しますので天井面より本体下面までの長さが0～25㎜の範囲になるよう本体を固定してください。

ダクト接続

1

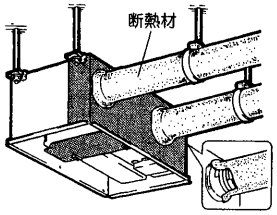


給・排気ダクトをダクト接続フランジに接続する。

お願い

- ダクト接続をする前にダクトの中に切り粉、異物(紙・ビニールなど)が入っていないことを確認してください。
- ダクト接続フランジとダクトのすき間は、市販のアルミテープなどを巻き付けてください。

2



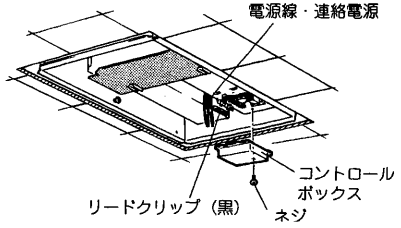
断熱処理

ダクト・ダクト接続フランジ部分は必ず結露防止のため断熱処理を施す。

電気工事

⚠警告	
	●交流100Vを使用する 間違った電源を使用すると火災や感電の原因になります
	●配線工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります **●指定の電線を使用して、抜けないよう確実に接続する** 接続に不備があると火災の恐れがあります

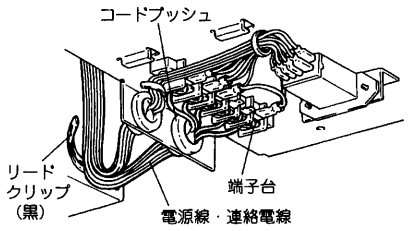
■運転にはシステム部材(別売)のコントロールスイッチ(PZ-03SLP)が必要です。



1.配線をする。

- 電源線・連絡電線にはφ1.6の単線(例VVF)を使用してください。
- 本体取付位置より2mの余裕をもって配線してください。

2.コントロールスイッチ（システム部材:別売）に同梱の取付・取扱説明書に従ってコントロールスイッチを取付ける。



3.本体の端子台に結線する。

(1)ネジ(1本)をはずしてコントロールボックスをはずす。

(2)電源線およびコントロールスイッチとの連絡電線を電源コード取り入れ口から本体内へ引き込む。

(3)電源線・連絡電線の先端を10㎜程度皮むきする。

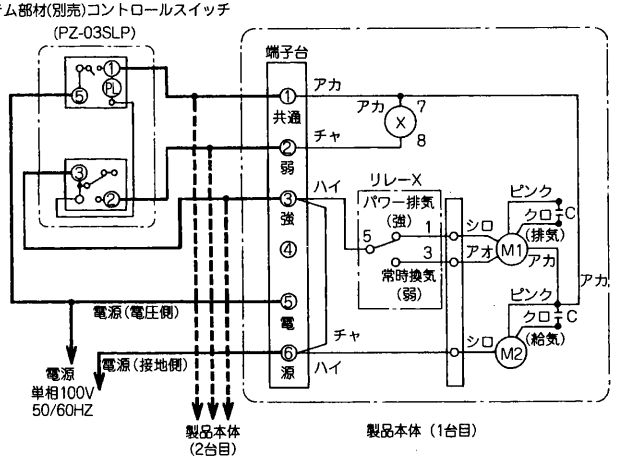
(4)コードブッシュを通して各線を端子台に接続する。(結線図参照)

(5)結線後、軽く引っ張って抜けないことを確認し、コントロールボックスを元通り取付ける。

(6)結線に力が加わらないように、リードクリップ(黒)で電線を束ねる。

■結線図 ※太線および破線部分を結線します。 漏電保護用に電源側に漏電ブレーカーを設けてください

●ロスナイとコントロールスイッチ間および複数台運転のロスナイ間の配線長合計は、100m以内としてください。(誤動作する恐れがあります)



■複数台運転について

この製品は、コントロールスイッチ1個で同時に下表の同一機種複数台運転ができます。

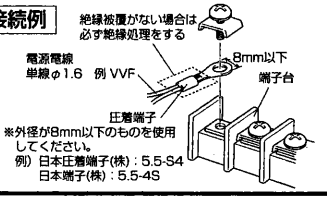
形　名	台　数
LTH-25PC	8
LTH-35PC	6
LTH-50PC	2
LTH-65PC	2

端子台接続時のご注意

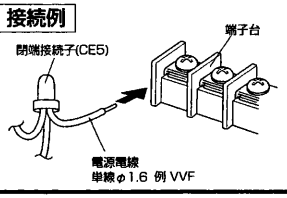
⚠注意

電源線、連絡電線などを端子台の1か所に2本以上接続する場合は圧着端子または閉端接続子などを使用して確実に接続する。使用しないと漏電・火災などの原因になることがあります

圧着端子　接続例



閉端接続子　接続例



試運転

本体の取付工事が終わりましたら、天井板を張る前に結線が間違っていないか確認して試運転を行う。

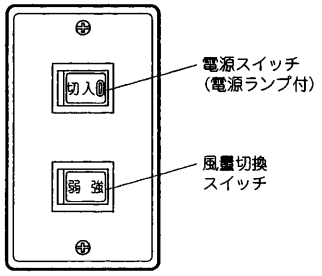
■ロスナイ本体端子台⑤⑥を短絡モードに誤結線されますと、分電盤のブレーカーが作動します。

必ず元電源を「切」の状態で次の確認を行う。

	項　目	手　順
①	コントロールスイッチ	電源スイッチを「入」にし、風量切換スイッチを「弱」にする。
②	抵抗の測定（ロスナイ本体）	ロスナイの端子台⑤⑥にテスターを当て抵抗を測定する。ほぼ0Ωが出ると**誤結線**です。結線図を見て正しく結線し直す。

元電源を入れ次の確認を行う。

システム部材(別売)コントロールスイッチ
(PZ-03SLP)

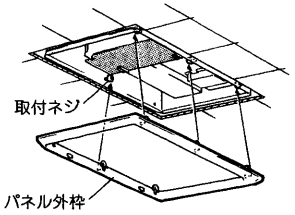


電源スイッチを「入」にし、風量切換スイッチを「強·弱」切換えたときロスナイの排気の風が強·弱に切換わるか確認する。

パネル（システム部材:別売）の取付け

天井板を張り、天井開口寸法図（外形寸法図参照）に従って開口部を設ける。詳しい取付方法はシステム部材（別売）のパネルに同梱の取付工事説明書を参照してください。

パネル外枠の取付け



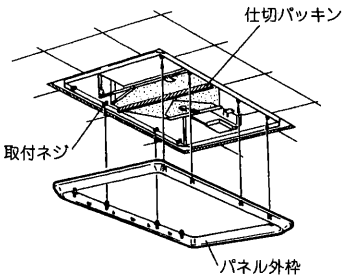
1.パネル内枠の開き方向に空間があるかを確認し、開く方向を決める。

2.パネルに付属の取付ネジ6本の内4本を図の位置に仮止めします。LTH-50PC・65PCの場合は取付ネジ8本の内6本で仮止めする。
（落下防止用ワイヤーと共締めする両端のネジ2本は後で取付ける）

3.パネル外枠を本体内に入れ取付調整用の長穴を仮止めした取付ネジに引掛ける。

4.パネル外枠を押し上げ全周が天井面に密着する位置で仮止めした取付ネジを増し締めして固定する。
（パネル外枠は0～25㎜の範囲で可動します）

※図はLTH-65PCを示す。

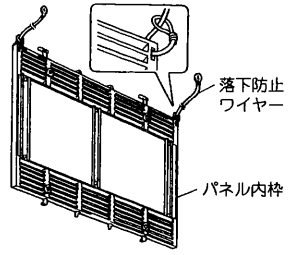


〈LTH-50PC·65PCの場合〉
パネルに付属の仕切パッキンを次の要領で貼付ける。

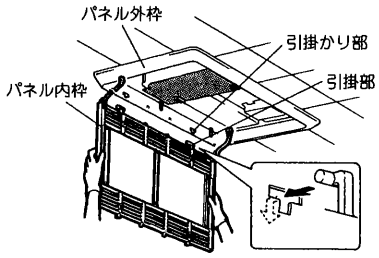
	パネル外枠の可動範囲	使用本数
PZ-565PCPW PZ-565PCPC	0～ 5mm以下	2本
	5～15mm以下	3本
	15～25mm以下	4本
PZ-565PCPZ	0～ 5mm以下	0本
	5～15mm以下	1本
	15～25mm以下	2本

●上記の使用本数を本体の中央部にある仕切パッキンの上へ重ね貼りをする。

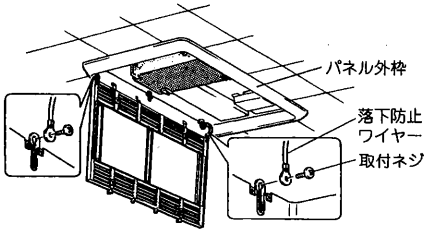
パネル内枠の取付け



1.パネルに付属の落下防止ワイヤー2本をそれぞれ図のようにパネル内枠に通す。



2.パネル内枠の引掛部をパネル外枠の引掛かり部に引掛ける。



3.落下防止ワイヤー2本をパネルに付属の取付ネジ（残り2本）でパネル外枠固定とともに本体に固定する。

4.両手でパネル内枠を押し上げ引掛部をパネル外枠にはめ込む。
●落下しないことを確認する。

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話 0573-66-2111

この説明書は、再生紙を使用しています。